

共用品推進機構だより 2018年05月11日 (05)

目次

(12) 共用品推進機構関連記事

▽「ブログを更新しました！」

(13) 製品関連記事

▽「障害者向け事業を強化／シナノケンシ」

(14) サービス関連記事

▽「電動カートで移動楽々 産学連携、防犯に活用／高松丸亀町商店街」

(15) その他、各種関連記事

▽「イケア、高齢者向け雑貨」

(16) 新刊紹介

▽『誰もが知りたいADHDの疑問に答える本』

▽『ちょっとしたことでうまくいく発達障害の人が上手に暮らすための本』

▽『発達科学ハンドブック 10 自閉スペクトラムの発達科学』

▽『発達障害児と保護者を支える心理アセスメント

「その子のための支援」をめざして』

▽『図で学ぶ障碍のある子どものための「文字・数」学習』

▽『もし部下が発達障害だったら』

▽『職場にいるメンタル疾患患者・発達障害者と上手に付き合う方法』

(12) 共用品推進機構関連記事

▼「ブログを更新しました！」

・慶應義塾大学で講義

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

(13) 製品関連記事

▼「障害者向け事業を強化／シナノケンシ」

精密モーターのシナノケンシ（長野県上田市）は障害を持つ子ども用の音声読み上げアプリ「イーリーダー」の米マイクロソフトの基本ソフト（OS）「ウィンドウズ」を搭載したタブレット端末向け製品の販売を始めた。

ウィンドウズ端末向けは業界初という。これまで米アップル製の iPad に限っていたアプリをウィンドウズにも広げることで利用者の拡大を狙い、年間 1000 件の契約を目指す。

イーリーダーは文字を読むことが難しい障害を持つ子ども向けに、教科書などを読み上げるアプリ。子どもが読みやすいように背景や文字の色を変えたり、読むスピードを変えたりできる。

（日経産業新聞 5月10日4面より抜粋）

(14) サービス関連記事

▼「電動カートで移動楽々 産学連携、防犯に活用／高松丸亀町商店街」

高松市の中心部の高松丸亀町商店街で、電動カートを高齢者の移動に活用する産学連携の「次世代タウンモビリティプロジェクト」が始まった。自主防犯組織がパトロール向けの「青パト」仕様のカートを使い始め、買い物客向けのシェアリングサービスの導入も検討している。

4月に始まった青パト仕様の電動カートを動かすのは、自主防犯組織の「高松丸亀町ガーディアンズ」のメンバー。背後にディスプレイを搭載し、自転車の走行禁止の表示や、店舗の紹介など様々な情報を伝えていく。電動

カートのシェアリングサービスは、カーシェアリングのように無人での提供に向けた仕組みを模索する。

(日経産業新聞 5月11日9面より抜粋)

(15) その他、各種関連記事

▼「イケア、高齢者向け雑貨」

家具大手のイケア・ジャパン（千葉県船橋市）は高齢者らが使いやすい雑貨を売り出すと発表した。スウェーデンで2017年から展開している。日本でも18年から、腰当てクッションなど一部商品を販売したが、今後、品ぞろえを増やす。

新シリーズ「オムテックサム」は人間工学の専門家や介護業界の研究者と連携して開発した雑貨。高齢者らの使いやすさとデザイン性の両立を図っている。

今後シリーズを拡充し、8月にかがまずに使える靴べらや、持ちやすい形状の花瓶などを新たに発売する。

(日経MJ 4月25日5面より抜粋)

(16) 新刊紹介

▼『誰もが知りたいADHDの疑問に答える本』

ADHDの一般的な原因は何？脳の中で何が起きているの？ADHD（注意欠如・多動性障害）について、特定の学説や治療法に偏らず公平に紹介し、科学的な基礎理論や医学的情報を分かりやすく解説する。

著：ステファン・P.ヒンショー キャサリン・エリソン

発行：星和書店

本体価格：1800円（税別）

ISBN：978-4-7911-0976-0

▼『ちょっとしたことでうまくいく発達障害の人が上手に暮らすための本』

時間管理ができない、無駄遣いが多い、片付けられない…。発達障害の人が上手に[常生活を過ごせるよう、発達障害の当事者である著者が生み出した、ちょっとした丁夫で実践できる暮らしのアイデアを紹介します。

著：村上由美（むらかみ・ゆみ）

発行：翔泳社

本体価格：1600 円（税別）

ISBN：978-4-7981-5413-8

▼『発達科学ハンドブック 10 自閉スペクトラムの発達科学』

これまで病理現象として捉えられてきた自閉症を、発達の多様性の具体的な現れという視点で捉え直す新たな方向性を探究。心理学、医学、当事者など多様な立場から、基礎研究と臨床研究、また試みも含め最先端の知見を展望する。

編：日本発達心理学会

発行：新曜社

本体価格：3200 円（税別）

ISBN：978-4-7885-1576-5

▼『発達障害児と保護者を支える心理アセスメント

「その子のための支援」をめざして』

長年、児童心理司を務めてきた著者が、発達障害児の支援をめぐる今の状況について考察した上で、本当に子ども・保護者のためになるアセスメントの考え方や様々な方法、保護者への報告書の活用法などを解説する。

著：古田直樹（ふるた・なおき）

発行：ミネルヴァ書房

本体価格：2200 円（税別）

ISBN：978-4-623-08252-0

▼『図で学ぶ障害のある子どものための「文字・数」学習』

記号操作の基礎学習（文字・数を記号として操作することを目指した学習）を積み上げることで、文字を形として理解することが可能な支援・指導を解説する。「写真でみる障害のある子どものための課題学習と教材教具」の続

編。

著：菅原伸康（すがわら・のぶやす） 渡邊照美（わたなべ・てるみ）

発行：ミネルヴァ書房

本体価格：2400 円（税別）

ISBN：978-4-623-08247-6

▼『もし部下が発達障害だったら』

ソーシャルワーカーが、心理・社会的支援の視点で職場の発達障害について解説。発達障害の正しい知識をはじめ、発達障害の特徴を持つ本人が自分らしさを活かすための具体的な工夫や、上司のマネジメントスキルなどを紹介する。

著：佐藤恵美（さとう・えみ）

発行：ディスカヴァー・トゥエンティワン

本体価格：1000 円（税別）

ISBN：978-4-7993-22406

▼『職場にいるメンタル疾患患者・発達障害者と上手につき合う方法』

メンタル疾患患者の雇用には難題が多い。メンタル疾患患者を職場に迎え入れたとき、まわりがどのように接するべきか、「正しい知識」を精神障害者雇用のスペシャリストが自身の経験をもとに実践的に伝える。

著：久保修一（くぼ・しゅういち）

発行：日本法令

本体価格：1700 円（税別）

ISBN：978-4-539-72597-9

（編集後記）

- ・この季節、和菓子屋さんにはかしわ餅が4月中旬から並んでいます。江戸時代の風俗研究家であった喜田川守貞（1810年～？）が書いた「守貞謄稿」の中に、柏餅に関して『江戸には味噌餡（砂糖入味噌）もあり、小豆餡は葉の表、味噌餡は葉の裏を出した由』と書かれています。
- ・数年前、目の不自由な人たちにかしわ餅を触ってもらったところ、「葉の表裏、触って分かる！」との答えが返ってきました。

意図したかは定かではありませんが、江戸時代から日本には「共用品」があったのです。

- そんなことから昨年、杉並区で行われたイベントに合わせて、葉の表裏が異なる味噌餡とこし餡、2つのかしわ餅の写真を表紙に載せたパンフレットを作りました。観音開きになっているパンフレットを開くと、現在の共用品をイラストで紹介しています。

イベントでは「へ～！」の声が多く聞かれたので、機構の事務所がある神保町の和菓子屋さんに話したところ、亀澤堂さんと文銭堂さんの2軒に、そのパンフレットを置かせていただいています。

- この話は続き、5月26日（土）の日本経済新聞の夕刊、「モノごころ・人語り」に書きましたので、是非、そちらでご覧いただけたらと思います。

（星川安之）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>